



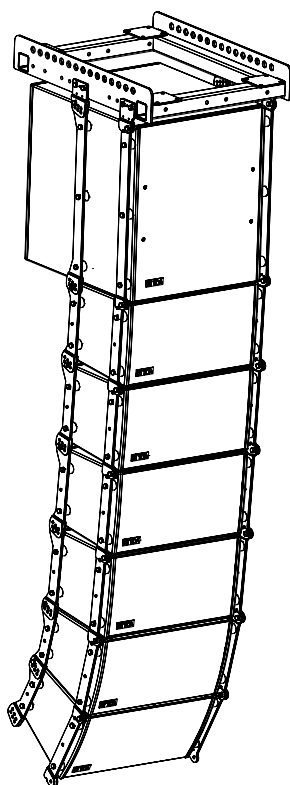
取扱説明書

ラインアレイスピーカー
(防滴型)

SR-C8LWP
SR-C8SWP
SR-C15BWP

リギングフレーム
(防滴型)

SR-RF8WP



このたびは、TOA ラインアレイスピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目 次

安全上のご注意	3
概 要	5
特 長	5
設置上のご注意	5
外観寸法図	
ハイボックス	
ラインアレイスピーカー SR-C8LWP	6
ラインアレイスピーカー SR-C8SWP	6
ローボックス	
ラインアレイスピーカー SR-C15BWP	7
金具類	
リギングフレーム SR-RF8WP	7
バイアンプ駆動とシングルアンプ駆動	
バイアンプ駆動	8
シングルアンプ駆動	8
シングルアンプ駆動へ切り換える	9
デジタルプロセッサの設定	
SR-C8LWP、SR-C8SWP のシステム	10
SR-C8LWP、SR-C8SWP に SR-C15BWP を組み合わせたシステム	11
リギングフレーム SR-RF8WP を使用したフライング設置	
フライングシステム概要	12
リギングフレーム SR-RF8WP の組み立て	15
リギングフレームとスピーカーの連結	16
スピーカー間の連結	17
フライングについて	18
仕 様	
SR-C8LWP、SR-C8SWP	19
SR-C15BWP	19
SR-RF8WP	20

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号



禁 止

行為を強制する記号



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

工事は専門業者に依頼する

フライングの工事には、技術と経験が必要です。
技術や経験のない業者が工事を行うと、落下して、けがの原因となります。



強 制

フライング工事をするときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、吊り下げワイヤーやベルトが外れたり、切れたりして、スピーカーが落下し、けがの原因となります。

- 吊り下げワイヤー、ベルトなどが重量物に対して十分な強度があること。
- 吊り下げワイヤー、ベルト側の金具がスピーカー側の金具に確実に固定されていること。
- すべてのパーツ（エンクロージャ、金具、ねじ類など）に変形、亀裂、腐食などが発生していないこと。
- 取り付けのためのねじ類は、必ずフライング金具に付属のものを使用すること。



強 制

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強 制

取り付けは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となります。



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

指定方法以外の取り付けかたをしない

指定の取付方法を守らないと、無理な力がかかり、落下して、けがの原因となります。



禁 止

適切なボルト、ナット類を使用する

壁または天井の材質、構造に適したボルト、ナット類を使用してください。守らないと、落下して、けがの原因となります。



強 制

各部のボルト、ナット類は確実に締め付ける

取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。



強 制

組み合わせは指定のものを使用する

取付金具は指定のものを使用してください。指定以外の組み合わせで使用すると、落下して、けがの原因となります。



強 制

常に振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下して、けがの原因となります。



禁 止

錆の発生しやすい場所に設置しない

換気の十分でないプールなどに設置しないでください。錆により部品が腐食し、落下して、けがの原因となります。



禁 止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

開梱や持ち運びは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。



強 制

金属のエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。



禁 止

使用するとき

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁 止

定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。スピーカーまたは取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因となることがあります。



強 制

概 要

独自の波面制御技術を採用し、明瞭度の高い均一音場が実現できるラインアレイスピーカーです。
垂直指向角が5度と15度のタイプと、サブウーハーがラインナップされています。
また別売金具を使用することにより、固定音響設備として多くのアプリケーションに対応できます。

特 長

- TOA 独自の波面制御技術を採用していますので、高音域まで干渉のない均一音場を可能にし、高い明瞭性と遠達性に優れた音響特性を実現しています。
- ラインアレイスピーカー SR-C8LWP は、高出力 20 cm ウーハーとコンプレッションドライバーを2機搭載した2ウェイスピーカーシステムで、垂直5度水平110度の指向角を持ち、遠距離用に適しています。バイアンプ駆動またはシングルアンプ駆動が可能です。
- ラインアレイスピーカー SR-C8SWP は、高出力 20 cm ウーハーとコンプレッションドライバーを2機搭載した2ウェイスピーカーシステムで、垂直15度水平110度の指向角を持ち、近距離用に適しています。バイアンプ駆動またはシングルアンプ駆動が可能です。
- 遠距離用の SR-C8LWP と近距離用の SR-C8SWP を組み合わせることにより、さまざまなシーンに対応できるラインアレイスピーカーシステムを構築できます。
- サブウーハー SR-C15BWP は、大口径 38 cm ウーハーユニットを採用した高耐入力仕様で、ラインアレイスピーカー SR-C8LWP、SR-C8SWP と組み合わせて使用します。
- メンテナンス作業がスピーカー後面から行えるように考慮されています。
- ラインアレイスピーカーは連結時にスピーカー間で0度から5度まで1度間隔でオーバーラップアングルを設定できますので、柔軟に指向性をコントロールできます。
- リギングフレーム SR-RF8WP を用いてラインアレイスピーカーをフライングすることができます。

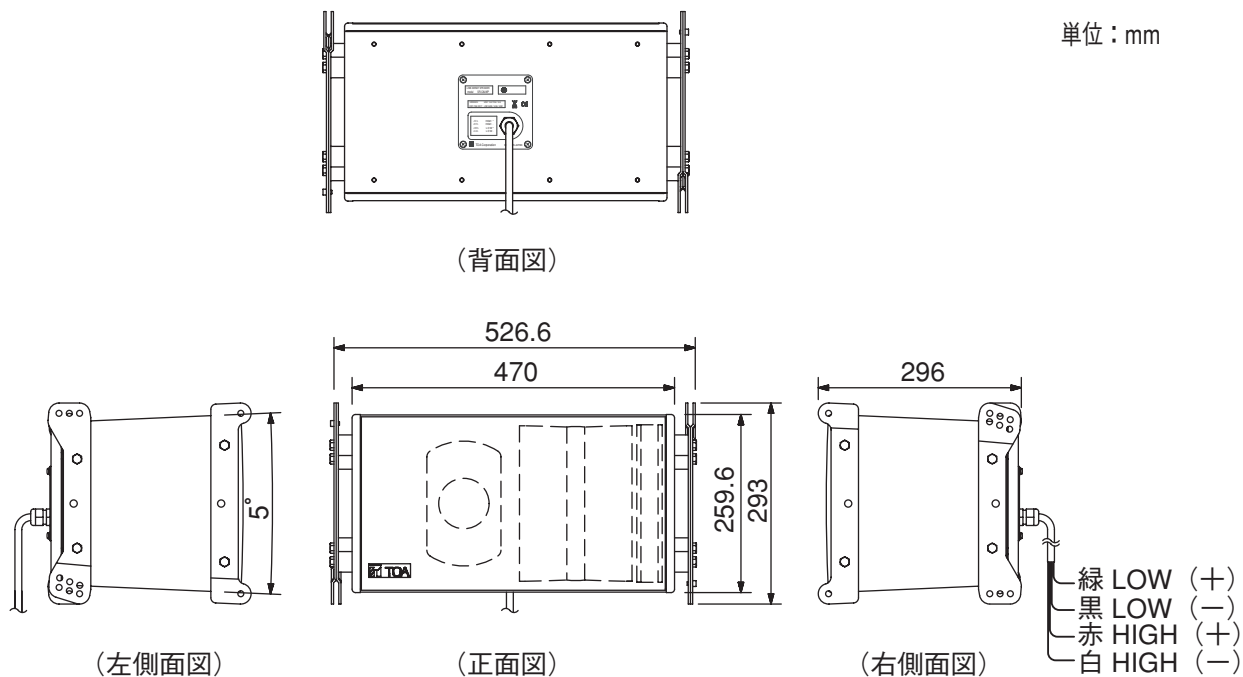
設置上のご注意

このスピーカーシステムは防滴型スピーカーですが、必ず屋根の下、軒下などの真上から雨または雪のかからない場所に設置してください。
また、屋内プールなどの高温多湿な場所には設置しないでください。
機器故障の原因となります。

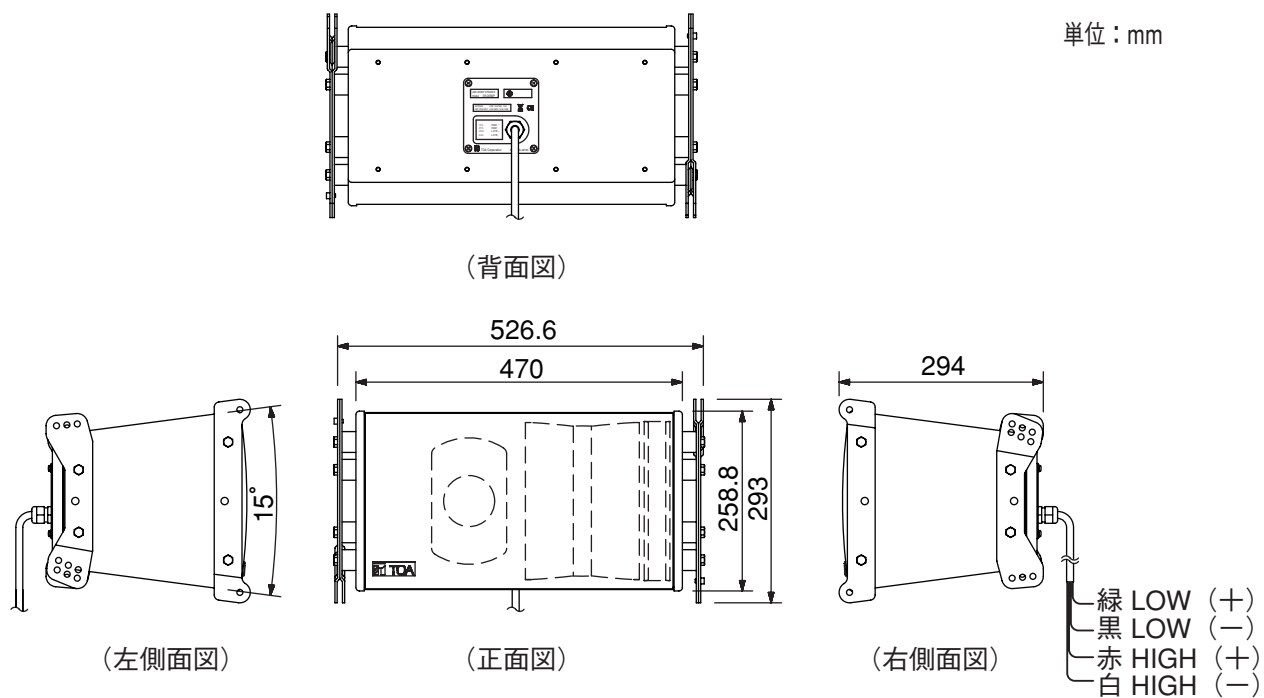
外観寸法図

■ ハイボックス

● ラインアレイスピーカー SR-C8LWP



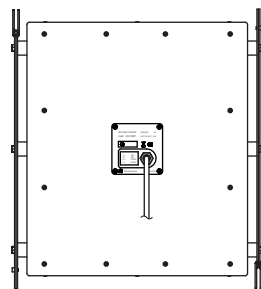
● ラインアレイスピーカー SR-C8SWP



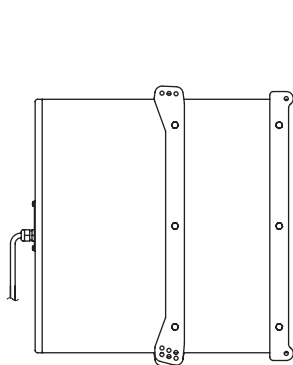
■ ローボックス

● ラインアレイスピーカー SR-C15BWP

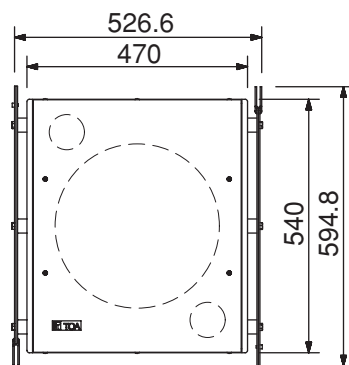
単位：mm



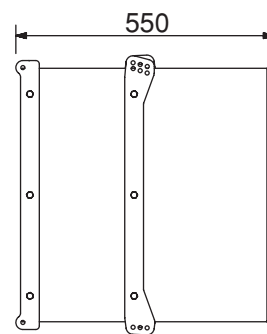
(背面図)



(左側面図)



(正面図)



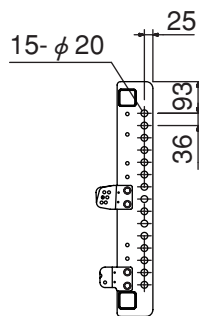
(右側面図)

緑 Input (+)
黒 Input (-)
赤 NC
白 NC

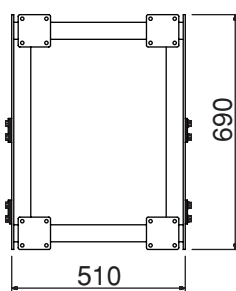
■ 金具類

● リギングフレーム SR-RF8WP

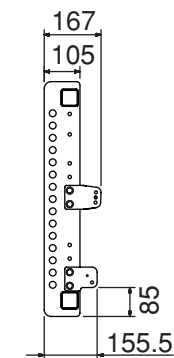
単位：mm



(左側面図)



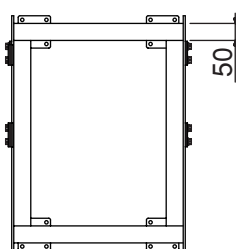
(上面図)



(右側面図)



(正面図)



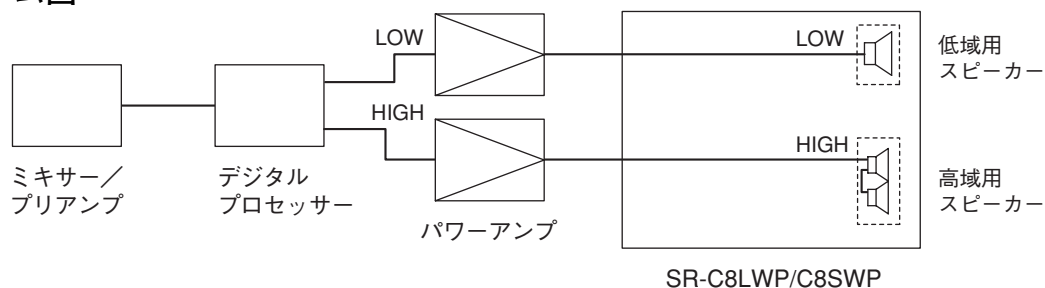
(底面図)

バイアンプ駆動とシングルアンプ駆動

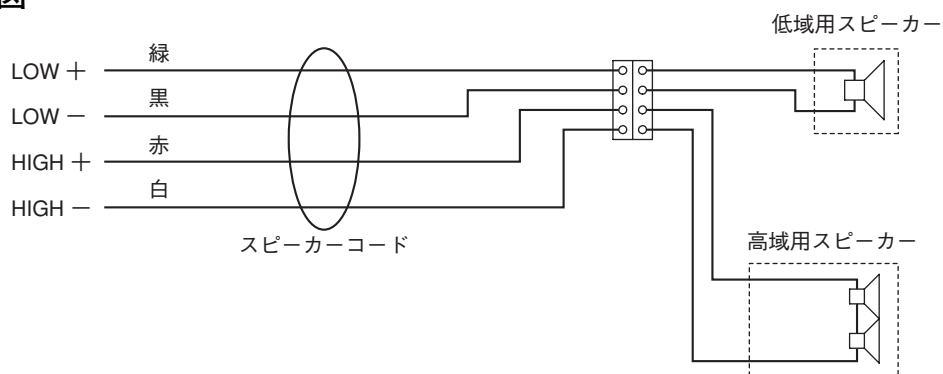
SR-C8シリーズスピーカーは、工場出荷時はバイアンプ駆動の状態になっていますが、内部コネクタを差し替えることでシングルアンプ駆動に切り換えることができます。
(P.9「シングルアンプ駆動へ切り換える」)

バイアンプ駆動

● システム図

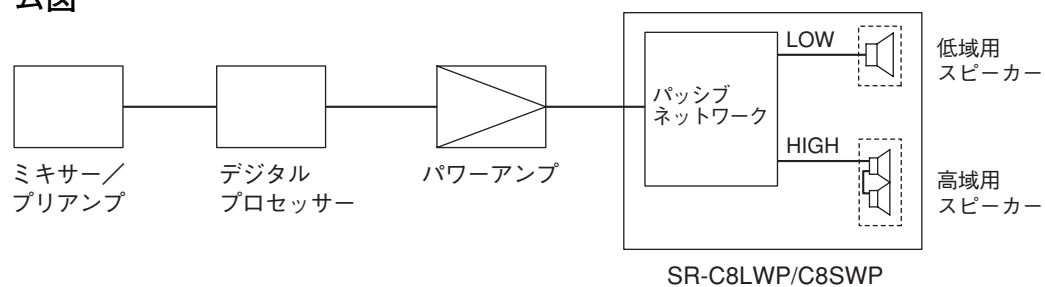


● 内部結線図

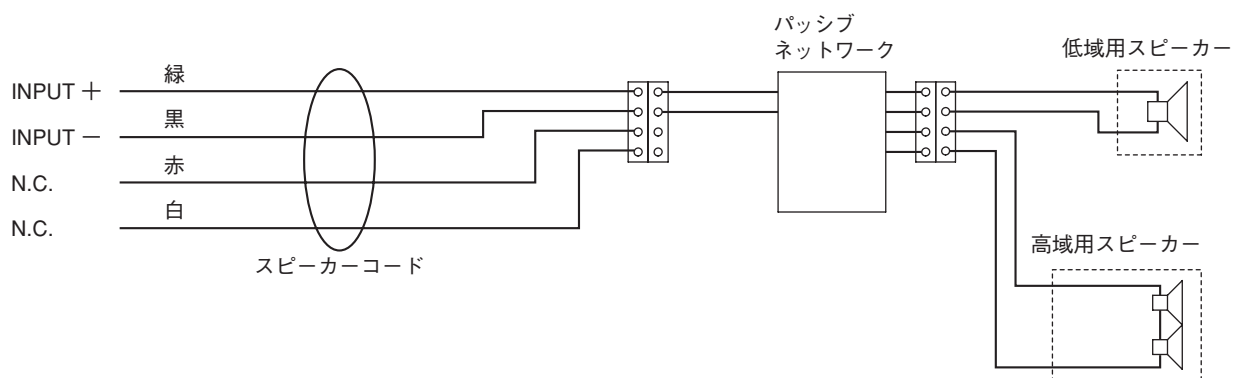


シングルアンプ駆動

● システム図



● 内部結線図



シングルアンプ駆動へ切り換える

スピーカー後面の入力パネルを外し、内部配線を変更することで、シングルアンプ駆動に切り換えることができます。

● 切り換えかた

- 1** パネル取り付けねじ4本を外し、入力端子パネルを取り外す。
- 2** 入力端子パネルの裏側に接続されている配線を少し引き出す。
- 3** 接続されている2組のコネクターを外し、シール付きのコネクターどうし、シールなしのコネクターどうしに差し換える。
- 4** 入力端子パネルを元どおりに4本のねじで取り付ける。
- 5** 付属のシールを入力端子パネルに貼り、表示を変更する。

5

入力端子パネルの表示変更

シングルアンプ用
定格シール (付属品)

シングルアンプ用
入力表示シール (付属品)

パネル取付ねじ

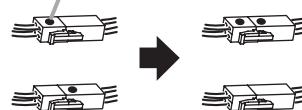
1、4

入力端子パネル

3

コネクターの切り換え

シール



デジタルプロセッサの設定

デジタルプロセッサのパラメーターを下記のように設定してください。

■ SR-C8LWP、SR-C8SWP のシステム

● バイアンプ駆動

チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
前段Filter	--	---	PEQ	1.6k	-4.0	1.414	---
SR-C8 LOW	0	Normal (正)	LPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0.667
			HPF (12dB)	60	---	1.000	
			PEQ	800	-5.0	3.450	
SR-C8 HIGH	-9.0	Normal (正)	HPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0
			PEQ	1.45k	-6.0	4.318	
			PEQ	2.9k	-10.0	2.997	
			High Shelving	10k	+7.0	---	
			All Pass	4.5k	---	2.016	
			All Pass	7.6k	---	2.016	
			All Pass	11.5k	---	2.215	
			All Pass	12.0k	---	2.016	
			All Pass	14.0k	---	1.512	
			All Pass	17.0k	---	4.938	

※Gainは目安であり、システム構成により調整が必要になります。

● シングルアンプ駆動

チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
SR-C8	0	Normal (正)	HPF (12 dB)	60	---	1.000	---
			PEQ	280	-3.5	4.318	
			PEQ	800	-2.0	3.450	
			PEQ	2.5k	-11.5	1.044	
			PEQ	2.65k	-5.0	2.145	
			PEQ	5.3k	-2.5	1.204	
			PEQ	9.0k	-6.0	1.707	

■ SR-C8LWP、SR-C8SWP に SR-C15BWP を組み合わせたシステム

● バイアンプ駆動

チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
前段Filter	--	---	PEQ	1.6k	-4.0	1.414	---
SR-C15B	+6.0	Normal (正)	HPF (12dB)	35	---	2.053	1.896
			LPF (6dB)	50	---	---	
			LPF (12dB)	100	---	1.432	
			PEQ	60	+3.0	2.648	
SR-C8 LOW	0	Normal (正)	LPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0.667
			HPF (12dB)	100	---	1.000	
			PEQ	800	-5.0	3.450	
SR-C8 HIGH	-9.0	Normal (正)	HPF (12dB)	2.0k	---	0.707	0
			PEQ	1.45k	-6.0	4.318	
			PEQ	2.9k	-10.0	2.997	
			High Shelving	10k	+7.0	---	
			All Pass	4.5k	---	2.016	
			All Pass	7.6k	---	2.016	
			All Pass	11.5k	---	2.215	
			All Pass	12.0k	---	2.016	
			All Pass	14.0k	---	1.512	
			All Pass	17.0k	---	4.938	

※Gainは目安であり、システム構成により調整が必要になります。

● シングルアンプ駆動

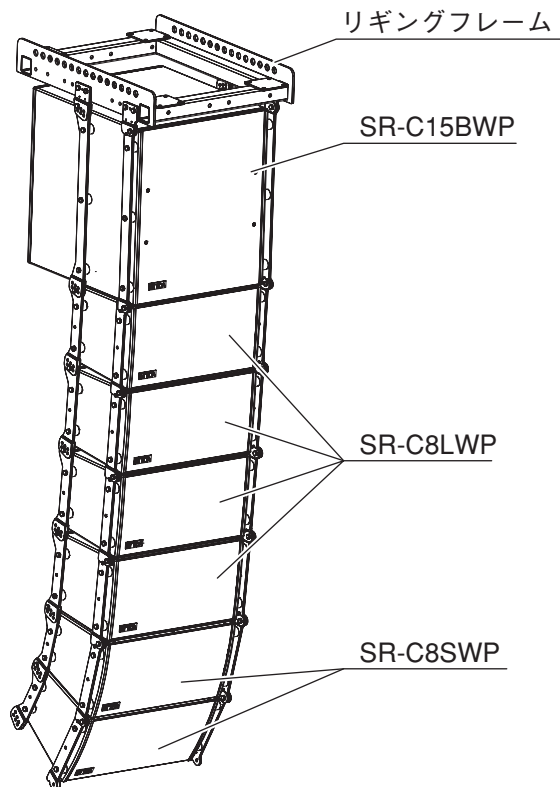
チャンネル	Gain (dB)	Polarity 極性	フィルター				Delay (msec)
			TYPE	Freq. (Hz)	Gain (dB)	Q	
SR-C15B	+6.0	Normal (正)	HPF (12dB)	35	---	2.053	1.229
			LPF (6dB)	50	---	---	
			LPF (12dB)	100	---	1.432	
			PEQ	60	+3.0	2.648	
SR-C8	0	Normal (正)	HPF (12dB)	100	---	1.000	0
			PEQ	280	-3.5	4.318	
			PEQ	800	-2.0	3.450	
			PEQ	2.5k	-11.5	1.044	
			PEQ	2.65k	-5.0	2.145	
			PEQ	5.3k	-2.5	1.204	
			PEQ	9.0k	-6.0	1.707	

※Gainは目安であり、システム構成により調整が必要になります。

リギングフレーム SR-RF8WP を使用したフライング設置

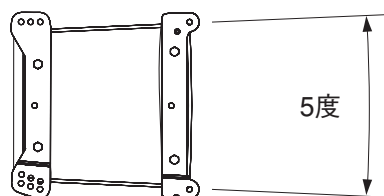
1 フライングシステム概要

リギングフレーム SR-RF8WP を使用したフライングシステムです。
このリギングフレームでラインアレイスピーカーを最大 12 台まで連結できます。
ただし、サブウーハー SR-C15BWP は 2 台として計算します。
設置環境に合わせて、垂直指向角を調整してください。
遠達性が必要な場合は、遠距離タイプ SR-C8LWP を連結して使用してください。
基本的なフライングシステムを下記に示します。

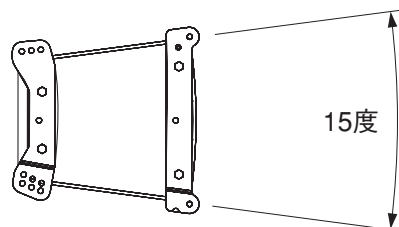


ラインアレイスピーカーの垂直指向角度は SR-C8LWP が 5 度、SR-C8SWP が 15 度です。

[SR-C8LWP]

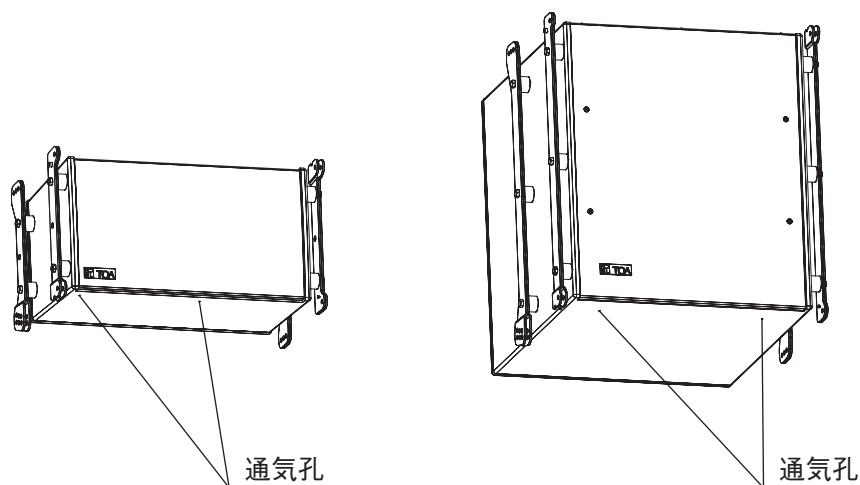


[SR-C8SWP]

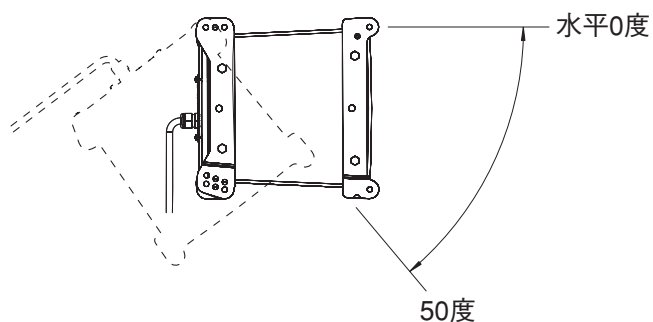


ご注意

- 防滴性能はIPX4を満足していますが、真上から雨または雪のかからない場所（屋根の下、軒下など）に必ず設置してください。
- 必ず通気孔が下側になるように取り付けてください。
この場合ブランドマークが必ず左下にきます。



- 各スピーカーの取付角度は、スピーカーの天面が水平下向き0度から水平下向き50度以内とするように取り付けてください。

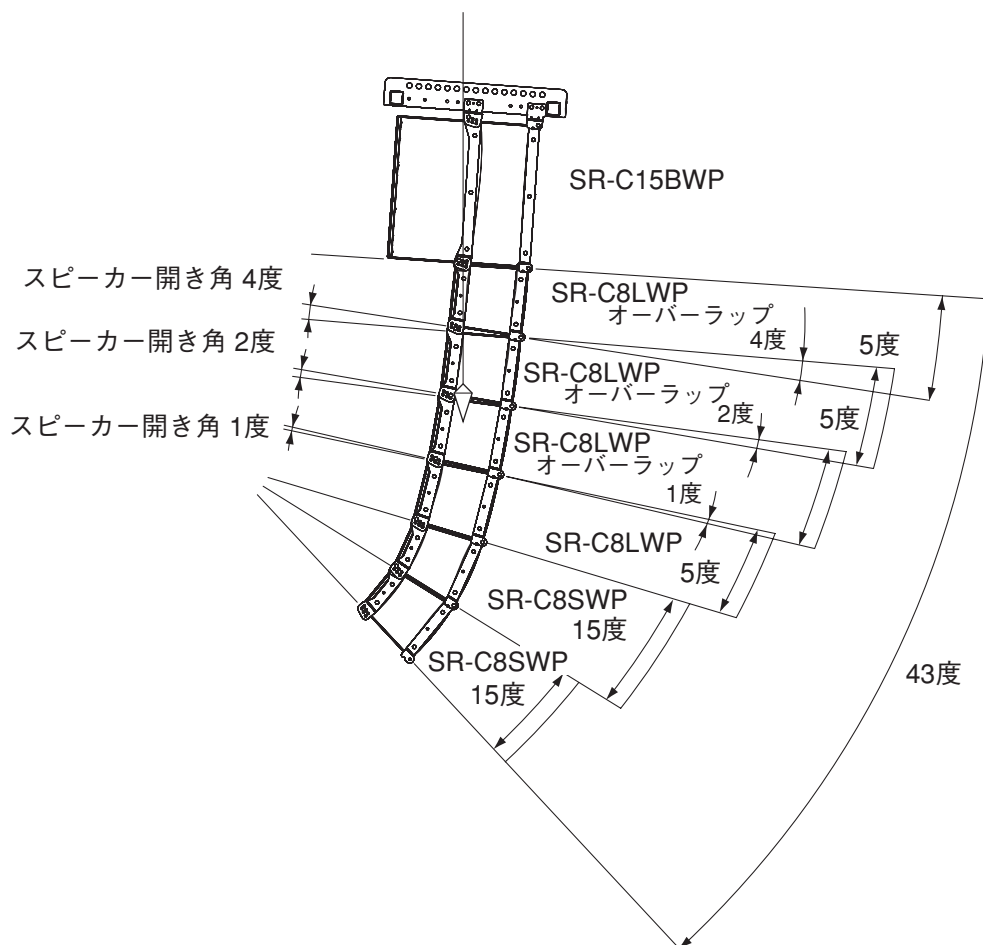


このフライングシステムはSR-C8LWPを4台、SR-C8SWPを2台、SR-C15BWPを1台組み合わせています。

遠達性を高めるために4台のSR-C8LWPの連結にそれぞれ4度、2度、1度のオーバーラップアングルを持たせています。その結果垂直指向角は43度となります。

スピーカーの連結方法によりオーバーラップアングルの設定ができます。

水平指向角は110度です。



図のように、オーバーラップアングルは、スピーカー間の後部開き角度と等しい値になります。

例：音の放射のオーバーラップアングルを5度に調整するには、スピーカー間の後部の開き角度を5度に調整します。

スピーカー間を空けずに連結した場合は、音の放射のオーバーラップはありません。
オーバーラップアングルの設定は「4 スピーカー間の連結」を参照してください。(P. 17)

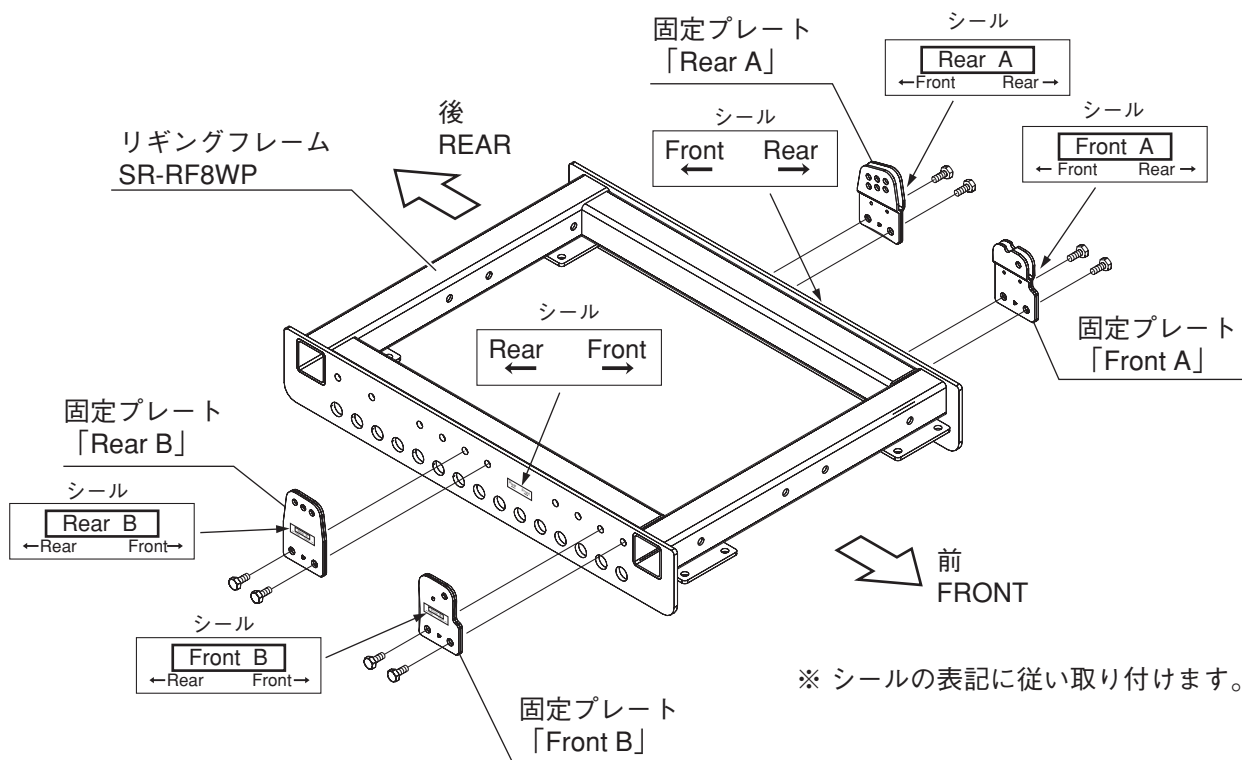
2 リギングフレーム SR-RF8WP の組み立て

下図を参考にリギングフレームを組み立てます。

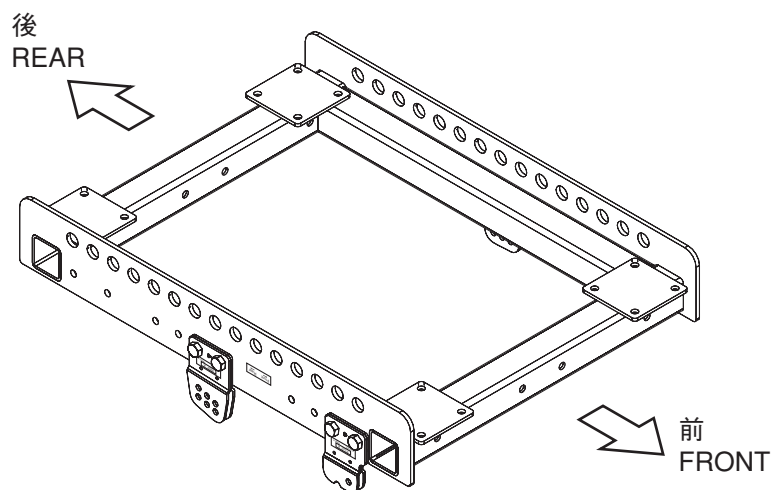
固定プレートはそれぞれリギングフレーム付属のボルト2本（平座金、ばね座金を含む）で確実に固定してください。

固定プレートには設置位置・設置方向があるので、図を参考に組み立ててください。

フライングの場合は必ず前取付穴を使います。



[組立完了図]



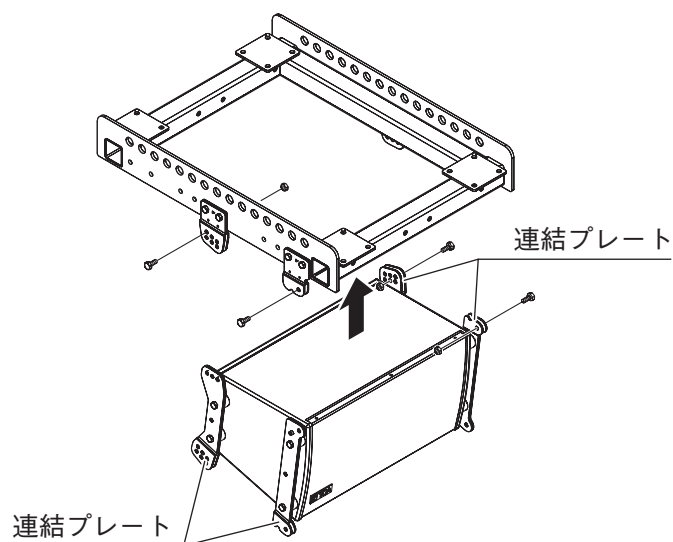
3 リギングフレームとスピーカーの連結

下図を参考にリギングフレームとスピーカーを連結します。

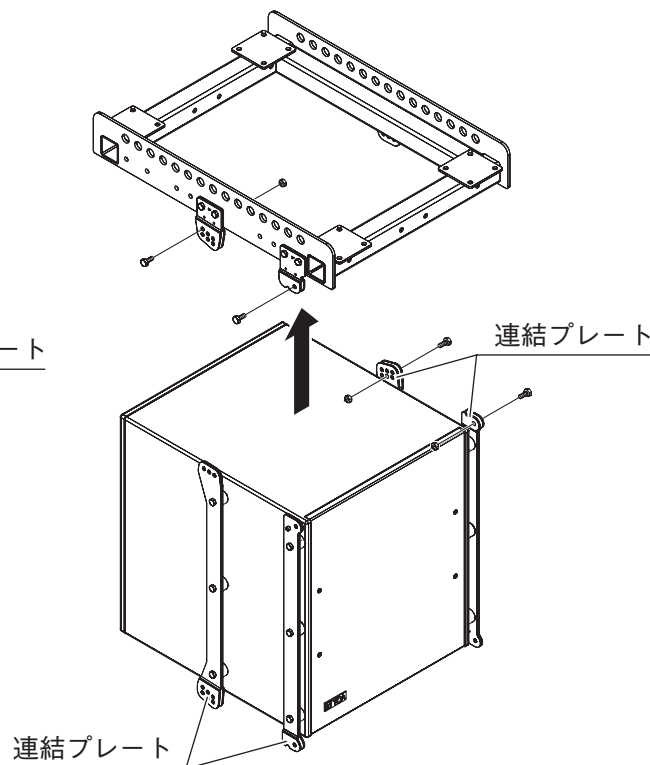
ホーンの位置を確認（SR-C8LWP/SR-C8SWPのみ）しながらスピーカーとリギングフレームを左右それぞれ付属のボルトとナットで確実に連結してください。

サブウーハー SR-C15BWP を吊り下げる場合は、サブウーハーが一番上（リギングフレームのすぐ下側）に来るように取り付けてください。

[ハイボックス組み立て図]



[サブウーハー組み立て図]

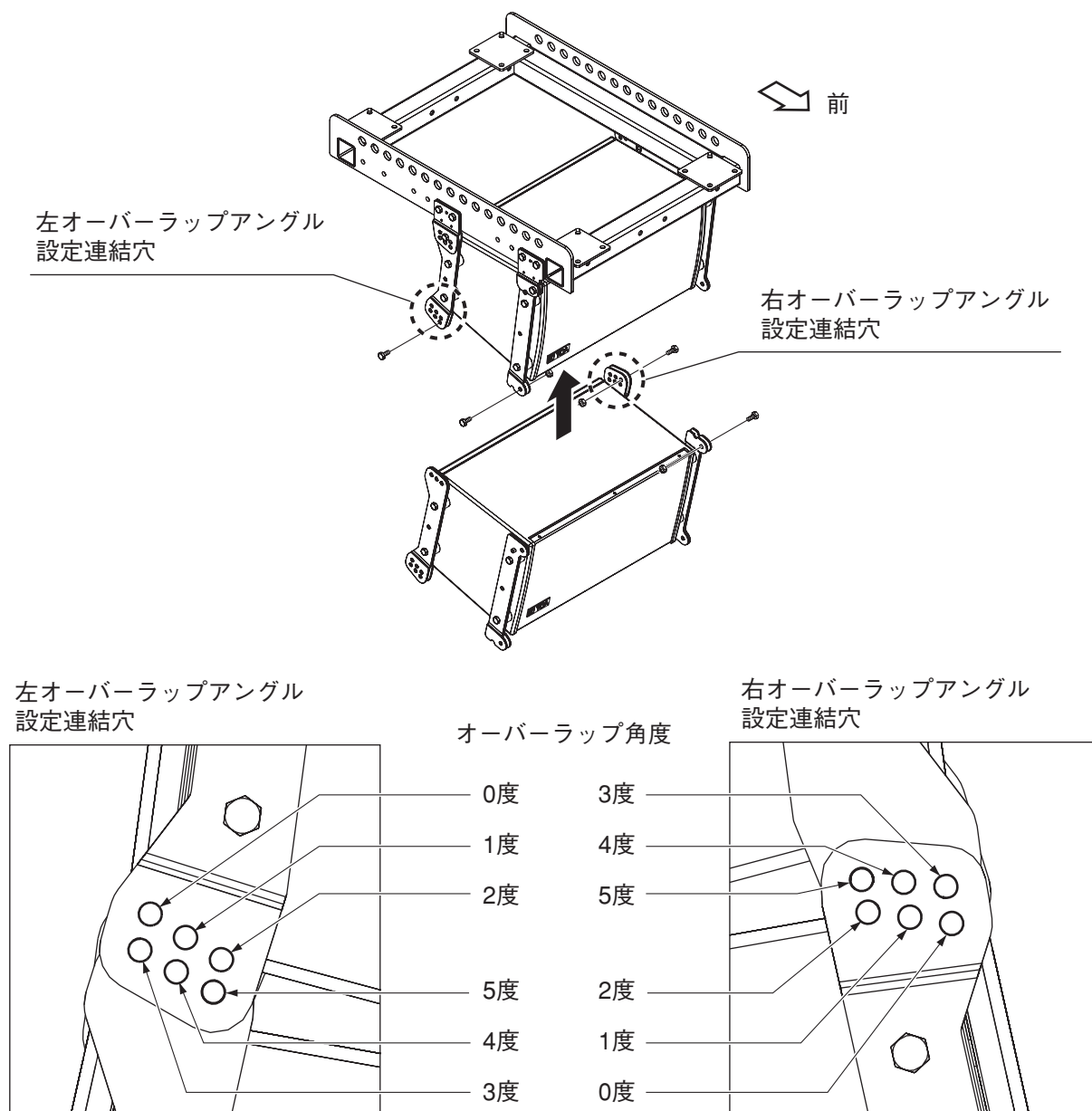


4 スピーカー間の連結

下図を参考にスピーカー間を連結します。

左右それぞれ付属のボルトとナットで確実に連結してください。

スピーカー後部側にはオーバーラップアングルを設定する連結穴がありますので、必要なオーバーラップアングルに合った連結穴を使って連結します。オーバーラップアングルは0度から5度まで1度間隔で設定が可能です。

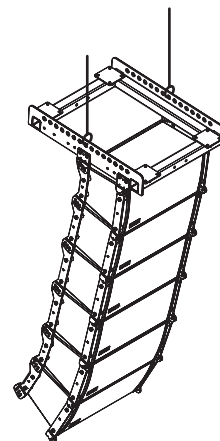


5 フライイングについて

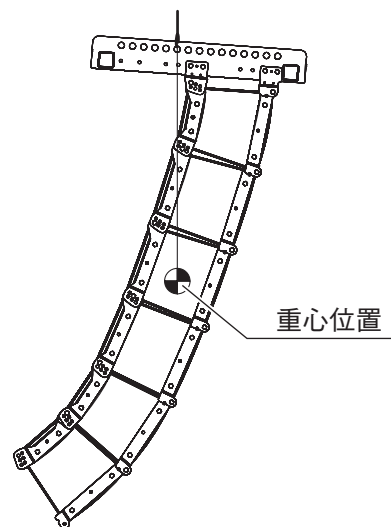
ご注意

- 吊り下げに使用するワイヤー・シャックル類は付属していません。十分な強度を確保したものを使用してください。
また吊り元も十分な強度を確保してください。
- リギングフレーム1台あたりラインアレイスピーカー 12台までの連結が可能です。サブウーハー SR-C15BWP は2台として計算します。合計台数で12台を超えて連結はできません。

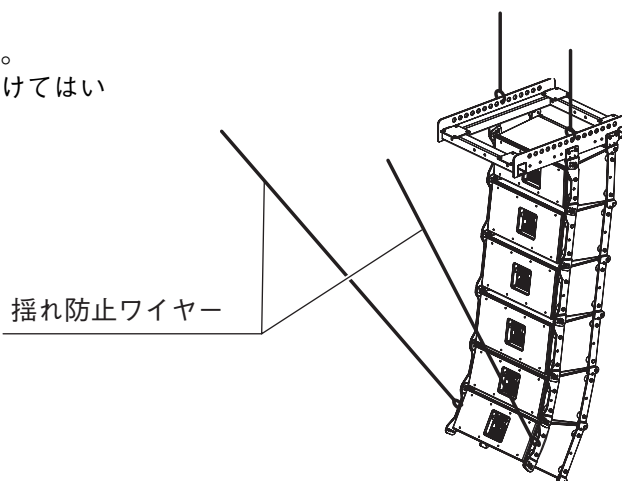
- 最低左右の2点で鉛直にフライイングします。



- 希望する下向き角度が実現できる吊り点を使用してください。
吊り点を後方に移動するほど下向きになります。



- 必要に応じて揺れ防止のワイヤーを追加してください。
ただし、揺れ防止のワイヤーにスピーカーの自重を掛けてはいけません。



仕 様

● SR-C8LWP、SR-C8SWP

品 番	SR-C8LWP	SR-C8SWP
エンクロージャ形式	バスレフ型	
許 容 入 力	連続プログラム 360 W (シングルアンプ駆動時) 低域：360 W、高域：180 W (バイアンプ駆動時)	
定格インピーダンス	16 Ω (シングルアンプ駆動時) 低域：16 Ω、高域：16 Ω (バイアンプ駆動時)	
出力音圧レベル	98 dB (1 W、1 m) (シングルアンプ駆動時) 低域：95 dB (1 W、1 m)、高域：110 dB (1 W、1 m) (バイアンプ駆動時)	
周 波 数 特 性	65 Hz ~ 20 kHz *	
クロスオーバー周波数	1.6 kHz *	
指 向 角	水平：110°、垂直：5°	水平：110°、垂直：15°
使用スピーカー	低域：20 cm コーン型 高域：波面制御ホーン110° (水平)×5° (垂直) +コンプレッションドライバー×2	低域：20 cm コーン型 高域：波面制御ホーン110° (水平)×15° (垂直) +コンプレッションドライバー×2
スピーカーコード	ケーブル直出し：φ 8.6 mm、導体断面積 1.25 mm ² 、4 心、3 m	
防 水 性 能	IPX4	
仕 上 げ	エンクロージャ：合板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、ウレタンコート パンチングネット：ステンレス、黒 (マンセル N1.0 近似色)、塗装	
寸 法	526.6 (幅)×293 (高さ)×296 (奥行) mm	526.6 (幅)×293 (高さ)×294 (奥行) mm
質 量	17 kg	16 kg
付 属 品	連結用ボルト (M8) 4	
別 売 品	リギングフレーム : SR-RF8WP デジタルスピーカープロセッサ : DP-SP3	

* 別売のデジタルスピーカープロセッサ DP-SP3 による推奨パラメーター適用時

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● SR-C15BWP

エンクロージャ形式	バスレフ型
許 容 入 力	連続プログラム：450 W
定格インピーダンス	8 Ω
出力音圧レベル	93 dB (1 W、1 m)
周 波 数 特 性	40 ~ 400 Hz *
クロスオーバー周波数	125 Hz *
使用スピーカー	38 cm コーン型
スピーカーコード	ケーブル直出し：φ 8.6 mm、導体断面積 1.25 mm ² 、4 心、3 m
使用温度範囲	-10 ~ +50℃
防 水 性 能	IPX4
仕 上 げ	エンクロージャ：合板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、ウレタンコート パンチングネット：ステンレス、黒 (マンセル N1.0 近似色)、塗装
寸 法	526.6 (幅)×594.8 (高さ)×550 (奥行) mm
質 量	41 kg
付 属 品	連結ボルト (M8) 4
別 売 品	リギングフレーム : SR-RF8WP デジタルスピーカープロセッサ : DP-SP3

* 別売のデジタルスピーカープロセッサ DP-SP3 による推奨パラメーター適用時

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● SR-RF8WP

適 合 ス ピ ー カ ー	SR-C8LWP、SR-C8SWP、SR-C15BWP
取付可能スピーカー台数	最大 12 台（ただし、SR-C15BWP は 2 台として計算する）
仕 上 げ	ステンレス、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装
寸 法	510（幅）× 167（高さ）× 690（奥行）mm（ボルト部を除く）
質 量	17 kg（付属品を含む）
付 属 品	プレート取付ボルト（M10）…………… 8

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、および カタログのご請求については、取り扱い店または最寄 りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所に ついては、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などにつ いての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00～17：00（土日、祝日除く）		

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <http://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-01-00150-00